

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	一般介護予防事業の実施
現状と課題	
<p>本市の特徴として、平成30年度末における認定者数は、要支援1が781名、要支援2が555名と要介護（要支援）認定者3,023名のうち、要支援の占める割合が44.2%と高いことが挙げられる。</p> <p>一般介護予防事業における普及啓発や通いの場の充実、リハビリテーションの専門的知見を有するものを活かした取り組みの推進等、介護予防に取り組める環境や体制づくりを支援強化し、要支援状態や要支援の方が要介護にならないよう事業を実施する必要がある。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>○介護予防の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none">・介護に関する教室や講座、イベントの開催などにより、介護予防の必要性や大切さをPRする。 <p>○地域介護予防活動支援</p> <ul style="list-style-type: none">・住民主体の通いの場が継続して実施できるよう、団体のリーダー育成研修を実施する。 <p>○リハビリテーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none">・地域リハビリテーションを推進するために、関係機関との研修会の開催などに取り組む。	
目標（事業内容、指標等）	
<p>○福祉や医療など関係機関と連携し、介護予防の普及啓発を図る。</p> <p>○住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような取組を進める。</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none">● 時点<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 中間見直しあり<input type="checkbox"/> 実績評価のみ● 評価の方法<ul style="list-style-type: none">・プロセス指標（実施回数等）とアウトプット指標（参加者数）による評価を実施	